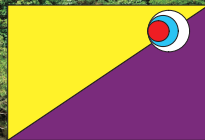


第六十七回



全日本東西対抗 剣道大会



とき

令和3年9月5日 日 午前9時開始

ところ

昭和電工武道スポーツセンター

〒870-0126
大分市大字横尾1351番地

主催：公益財団法人 全日本剣道連盟

主管：一般財団法人 大分県剣道連盟

後援：大分県 大分市 大分県教育委員会
NHK大分放送局 OBS大分放送

公益財団法人 大分県スポーツ協会 大分合同新聞社
TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。

「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。
この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。

お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、
「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す
指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。

「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、
文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

第67回 全日本東西対抗剣道大会 日程表

9月4日(土)

No.	種 目	摘 要	時 間	所要時間
1	東 軍 練 習	昭和電工武道スポーツセンター	14:00～15:00	1 時間
2	西 軍 練 習	昭和電工武道スポーツセンター	14:00～15:00	1 時間
3	審 判 会 議	昭和電工武道スポーツセンター	15:00～16:00	1 時間

※審判会議は東軍・西軍の監督と選手も参加する。

9月5日(日)

会場：昭和電工武道スポーツセンター

No.	種 目	摘 要	時 間	所要時間
1	選 手 集 合		8:30	
2	選 手 整 列		8:55	
3	開 会 式		9:00～ 9:20	20分
4	日 本 剣 道 形		9:20～ 9:30	10分
5	試 合	女子の部（5 試合）	9:40～10:10	30分
6	試 合	35試合	10:15～16:15	6 時間
7	閉 会 式	表 彰	16:25～16:45	20分

ごあいさつ



公益財団法人 全日本剣道連盟

会 長 稲 川 泰 弘

第67回全日本東西対抗剣道大会を、ここ大分県「昭和電工武道スポーツセンター」において開催するに当たりご挨拶を申し上げます。コロナ禍ではございますが、皆さまのご協力により大会が開催できますことに深く感謝申し上げます。

本大会は、昭和15年宮崎市において開催された全日本東西対抗武道大会を発祥とし、昭和29年より、全日本剣道連盟が継承し本大会名で復活させ、以後毎年、全国各地を巡って開催しており、幾多の名勝負が語り伝えられている由緒ある大会であります。

大会は、全国を東西に二分し、剣道六、七、八段の心技ともに円熟した剣士各々35名を選抜して行う対抗試合であります。選手構成は大将・副将を範士八段、三将より十七将までを教士八段、十八将より三十二将までを七段、三十三将より先鋒までを六段としております。また、女子の部においては、各年代より選抜された各々5名の選手による対抗試合となります。試合時間については男女とも5分とし、勝負の決しない場合は1本勝負となり、引き分けはありません。出場される剣士各位には、日頃の修練の成果を遺憾なく発揮され、剣道界における最高レベルの試合を展開されることを切望いたします。

コロナ禍で剣道界が経験した「大きな変化」は、稽古中の密を避ける方途として導入した「新しい審判法」で「事実上鏝競り合いを封じた」ことによって生じました。そこには相対する選手が「真正面から斬り合う」「緊張感あふれる立合い」の姿が現れ、その姿こそが「正しい剣道」として誰の目にも確認される結果となりました。今後も、剣道の一層の普及発展を図るための諸施策を推進し、広く青少年の健全育成に寄与していく所存であります。

また、中高年ならびに女性剣士の増加、更には外国における剣道の普及発展には目を見張るものがあります。「剣道の理念」に則り、「剣道指導の心構え」の現場への浸透を図り、剣道の普及発展に一層の努力を行い、わが国社会の発展に寄与する人造りを進めて行く所存であり、各位のご尽力とご協力をお願いするものであります。

終わりに、本大会の開催に当たり、運営の労をとられます主管の大分県剣道連盟に対し、また大分県・大分市をはじめご後援いただきました皆様方に衷心より感謝申し上げますご挨拶といたします。

ごあいさつ



一般財団法人 大分県剣道連盟

会 長 安 部 正 定

新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期となっておりました第67回全日本東西対抗剣道大会が、大分県で開催されますことは主管県として大変光栄であり、ご来県いただきました全日本剣道連盟役員の皆様や全国各県から選抜された審判員、監督、選手の皆様に心から歓迎いたします。また、本日も来場いただきました県内外の多くの皆様方にお礼申し上げます。

全日本東西対抗剣道大会が大分県で開催されたのは、昭和58年第29回大会で、今回は38年ぶりの開催となります。剣道関係者をはじめ武道愛好者の念願であった県立武道館「昭和電工武道スポーツセンター」が建設され、本会場での大会開催を機に本県剣道界の一層の振興発展に繋がって行きたいと願っています。また、大分県は武神である宇佐八幡宮があり、戦国大名で名を馳せた大友宗麟や「剣は心なり」の訓えを示された島田虎之助硯山などの武人誕生の地でもあります。

さて、選手の皆様は、各年齢と段位において、心技ともに卓越し円熟の境地に立つ実力者であり、選出された喜びと自信や誇りを胸に、日頃の修練を重ねた力を試合で遺憾なく発揮されることを切望いたします。そして、正々堂々の対峙から放たれる研ぎ澄まされた一瞬の技の応酬は、観戦者を魅了し、大きな夢と感動を与えてくれることでしょう。

結びになりましたが、本大会の開催にあたり多大のご指導とご支援を賜りました全日本剣道連盟をはじめ、大会の準備、運営等の詳細にわたって助言をいただきました先進開催県の福岡県、宮城県、静岡県の各県剣道連盟、そして本日の大会運営に携わる関係各位に心から感謝申し上げます。ご挨拶いたします。



大分県知事 広瀬 勝 貞

第67回全日本東西対抗剣道大会が、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただいた多くの選手、大会関係者の皆様を、県民を代表いたしまして心から歓迎いたします。

また、コロナ禍の中、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様方に深く敬意を表します。

本県では、県民スポーツの推進や世界に羽ばたく選手の育成による青少年の健全育成や、スポーツを通じた地域の元気づくりによる地域社会の活性化など、スポーツの振興に取り組んでいます。

中でも武道は、自己の体を鍛え技を磨くだけでなく、礼節を重んじ、相手を尊重する態度を身に付けるなど、心技体を一体として鍛えることから、一昨年4月にここ昭和電工武道スポーツセンターを開設するなど積極的に支援しています。

こうした中、全国から選抜された心技ともに円熟した一流の剣士が一堂に会する日本剣道最高峰の大会がこの会場で開催されますことは大変意義深く、本県のスポーツ振興にも大いに寄与するものと期待しています。

選手の皆様には、日頃の修練の成果を遺憾なく発揮され、研ぎ澄まされた息をもつかせぬ好試合を展開し、観客に感動を与えていただくことを願っています。

また、大会終了後は、是非ここ大分市をはじめ県内各地を巡っていただき、日本一の「おんせん県おおいた」が誇る様々な魅力（味力）、温泉はもちろん、関あじ、関さば、おおいた和牛など豊富な海の幸、山の幸をご堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会のご成功と全日本剣道連盟、大分県剣道連盟をはじめ、本大会開催にご尽力いただいた関係各位の今後ますますのご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、ごあいさつといたします。



大分市長 佐藤 樹一郎

「第67回全日本東西対抗剣道大会」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げますとともに、全国から大分市にお越しいただきました皆様を、48万市民を代表して心から歓迎いたします。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年の開催が残念ながら延期となっていたため、今年の開催を心待ちにしておりました。

現在、本市では、にぎわいと活力にあふれ、市民が健やかでいきいきと暮らすことのできる大分市の実現に向け、だれもが身近な場所でスポーツに参画できるよう生涯スポーツの推進とともに、競技スポーツの振興に取り組んでおります。

このような中、長い歴史を有し、日本剣道界最高峰の大会のひとつである本大会が、本市で開催されますことは、剣道競技の普及・発展、スポーツによる地域の活性化等、本市のスポーツ振興に大きく寄与するものであります。

参加される選手の皆様におかれましては、コロナ禍で満足に稽古ができない日々が続くなど、様々なご苦勞があったかと思います。苦境を乗り越え、心身ともに成長された皆様が、日頃の稽古の成果を存分に発揮され、熱い戦いを繰り広げられますとともに、相互の親睦と交流を深められ、思い出に残る大会となることを期待しています。

さて、本市には、野生のニホンザルを間近で見ることができる「高崎山自然動物園」や水族館「うみたまご」などの観光スポットをはじめ、「関あじ・関さば」や、大分の郷土料理の「とり天」、「にら豚」、「りゅうきゅう」など、全国に誇れる豊かな「食」もございます。皆様方には折角の機会でございますので、ぜひ本市の魅力もご堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、格別のご尽力をいただきました公益財団法人全日本剣道連盟及び大分県剣道連盟をはじめとする関係者の皆様に対し、深く感謝と敬意を表するとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘を心から祈念いたします。

大会次第

1. 開 会 式

- (1) 役員・選手整列
- (2) 国 歌 斉 唱
- (3) 優勝旗返還 東軍大将 剣道範士 古 川 和 男
- (4) 挨拶 全日本剣道連盟会長 稲 川 泰 弘
- (5) 祝 辞 大 分 県 知 事 広 瀬 勝 貞
- (6) 祝 辞 大 分 市 長 佐 藤 樹一郎
- (7) 歓迎の言葉 大分県剣道連盟会長 安 部 正 定
- (8) 関係者紹介
- (9) 試合場の注意 審 判 長 島 野 泰 山
- (10) 花 束 贈 呈
- (11) 選 手 退 場

2. 公 開 演 武

日本剣道道形 打太刀 剣道 教士八段 中 倉 幸 雄
仕太刀 剣道 教士八段 三 浦 悟

3. 試 合

女 子 の 部 5 試合
男 子 の 部 3 5 試合

4. 閉 会 式

- (1) 選 手 整 列
- (2) 表 彰
- (3) 挨拶
- (4) 役員・選手退場

表 彰

1. 優勝には、賞状ならびに優勝旗、賞品を授与する。
準優勝には、賞品を授与する。
2. 優秀試合賞
格の高い且つ感動的な試合に対しては、選手双方に全日本剣道連盟より賞状ならびに賞品を授与する。
3. 優秀選手賞
優秀選手には、全日本剣道連盟より賞状ならびに賞品を授与する。

第67回 全日本東西対抗剣道大会 要項抜粋

1. 趣 旨

本大会は剣道の真価を示すものとして全国を東西に二分し、各層における卓越した剣士を選抜して対抗試合を行うものであり、1940年2月に始まった由緒ある行事を継承して、全剣連設立以来開催している。

2. 東西の分け方

- (1) 東軍は福井県、愛知県、岐阜県、三重県より以東。
- (2) 西軍は滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県より以西。

3. 両軍の編成と選手の構成

- (1) 監督：各1名 選手：各35名
- (2) 構成 ア. 大将・副将は、全日本剣道連盟（以下、全剣連という）選手選考委員会で選考し、選出する。
イ. 3将より17将は、教士八段受有者で年齢60歳以下の者。
ウ. 18将より32将は、七段受有者で年齢46歳以下の者。
エ. 33将より先鋒は、六段受有者で年齢33歳以下の者。
（年齢の基準は大会前日とする）

4. 選出方法

- (1) 監督は、全剣連会長が委嘱する。
- (2) 選手（大将・副将は除く）は、各都道府県剣道連盟（以下、各連盟という）から推薦された候補者を、全剣連会長が委嘱した選手選考委員会で選考し、選出する。この場合、若干の補欠を設ける。

5. 審判員

審判長1名、審判員12名を全剣連会長が委嘱する。

6. 組 合 せ

- (1) 組合せは、選手選考委員会で決定する。
- (2) 参加申込後、選手に事故が生じて出場不可能の場合は、補欠選手の中より充当する。

7. 試合・審判規則および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合は、3本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗が決するまで継続する。
- (3) 試合は東西各35名の選手による、勝者数法とする。

第67回 全日本東西対抗剣道大会〔女子の部〕要項抜粋

1. 趣 旨

女子剣道の技能向上と、より一層の普及発展を図ることを目的として、全国を二分し、女子剣士の認識を深めようとするものである。

2. 東西の分け方

- (1) 東軍は福井県、愛知県、岐阜県、三重県より以東。
- (2) 西軍は滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県より以西。

3. 両軍の編成と選手の構成

- (1) 監督：各1名 選手：各5名
- (2) 構成
- | | | |
|----|-----------------|----|
| 大将 | 年齢40歳以上の者 | 1名 |
| 副将 | 年齢35歳以上、40歳未満の者 | 1名 |
| 中堅 | 年齢30歳以上、35歳未満の者 | 1名 |
| 次鋒 | 年齢25歳以上、30歳未満の者 | 1名 |
| 先鋒 | 年齢20歳以上、25歳未満の者 | 1名 |
- 段位は制限しない。（年齢の基準は大会前日とする）

4. 選出方法

- (1) 監督は、全日本剣道連盟（以下、全剣連という）会長が委嘱する。
- (2) 選手は、各都道府県剣道連盟（以下、各連盟という）から推薦された候補者を、全剣連会長が委嘱した選手選考委員会で選考し、選出する。この場合、若干の補欠を設ける。

5. 審判員

審判長 1 名、審判員 12 名を全剣連会長が委嘱する。

6. 組合せ

- (1) 組合せは、選手選考委員会で決定する。
- (2) 参加申込後、選手に事故が生じて出場不可能の場合は、補欠選手の中より充当する。

7. 試合・審判規則および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合は、3本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗が決するまで継続する。
- (3) 試合は東西各5名の選手による、勝者数法とする。

第67回 全日本東西対抗剣道大会 役員

【大会会長】	全日本剣道連盟会長	稲川泰弘
【大会副会長】	全日本剣道連盟副会長	網代忠宏
	全日本剣道連盟副会長	真砂威
	全日本剣道連盟副会長	神谷明文
	大分県剣道連盟会長	安部正定
【大会顧問】	全日本剣道連盟相談役	伊藤元明
	”	上田憲幸
	”	奥島快男
	”	児嶋克
	”	福本修二
	”	松永政美
	全日本剣道連盟審議員	大嶽將文
	”	小倉昇
	”	忍足功
	”	梯正治
	”	小坂達明
	”	椎屋光男
	”	島野泰山
	”	末平佑二
	”	鈴木康生
	”	中田琇士
	”	藤井稔
	”	宮川英俊
	”	三宅一志
	”	目黒大作
	全日本剣道連盟顧問(医師関係)	宮坂昌之
	”	宮坂信之

第67回 全日本東西対抗剣道大会 役員

【大会 参 与】	増田 知幸	安部美知雄	小笠原宏志	井上 雅勝
	長谷川弘一	小倉 培夫	白石 正範	小林 一隆
	山中 茂樹	小林 英雄	渡邊 宏一	浅原 行雄
	南 信廣	牧田 稔	片山 外一	加瀬 浩明
	吉村 勝	堤 俊彦	岡田 一義	中野 正堂
	伊吹 文明	長榮 周作	吉田 克法	世耕 弘成
	河野修一郎	山本晋一郎	林 正夫	中西 章
	岸田 芋	高木 弘伸	三原 悦男	俊野 徹人
	藤川 和秋	青柳 俊彦	江島 良介	松尾 博行
	尾方 正照	橋口 光博	俣木 正喜	親川 光俊
【大会委員長】	全日本剣道連盟専務理事			中谷 行道
【大会副委員長】	全日本剣道連盟普及担当常任理事			藤原 崇郎
	全日本剣道連盟審判担当常任理事			香田 郡秀
	全日本剣道連盟女子担当常任理事			佐藤 厚子
【大会委員】	上浦かなえ	軽米 満世	篠原 政美	内藤 常男
	長尾 進	濱崎 満	舟木 隆	蒔田 実
	水田 重則	青山 彩子	安部 壽和	岡嶋 恒
	加藤 治	栗崎 敬一	榊 寿一	寫末 秀一
	下川 祐造	相馬 建男	千葉 胤道	奈良 隆
	濱口 雅行	山村 勝弘	吉田 博光	脇本 幸彦
	渡邊 三則	安保 洋子	小風 明	吉田 篤生
【実行委員長】	阿部 昭一			
【実行副委員長】	青木 孝			
	高澤 彰			
	佐藤慎二郎			
【実行委員】	小林 晋一	加古 恵	高橋 嶺	長濱 直弥
	斎藤 諒	松浦 千恵	鈴木 徳之	新美俊太郎
	遠藤 尚人	澤飯 功明	和栗 諒人	鈴木 淳子

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

第67回 全日本東西対抗剣道大会 競技役員

【実行委員会会長】	安部 正定				
【実行委員会副会長】	東 義信	林 達雄	小宇佐尚志	近藤 俊雄	
【実行委員長】	阿部 昭一				
【実行副委員長】	三浦 悟	鈴木 基史			
【統 括】	阿部 昭一	鈴木 基史	安東 夏行	堀 秀一郎	大内 正勝
【事務局 長】	鈴木 基史				
【事務局 次 長】	安東 夏行				
【事 務 局】	小野 光洋	佐藤慎二郎	大西 和美		
【総務企画部長】	阿部 傳七				
【総 務 班 長】	中倉 幸雄				
【総 務 係】	龍口 憲治	園田 貴史			
【受 付 係】	中倉 弘子	吉田 賢一	松本 茂	中島 理恵	佐藤慎二郎
【レセプション】	後藤 靖憲	三宮 政廣			
【案内誘導係】	財前 宜宏	本多 幸蔵	佐藤 克正	山田 恭弘	森山 智
【物品販売係】	矢野 茂明	吉松 泰介			
【接 待 係】	木田 典子	古手川和子	衛藤 理沙	三輪 美香	本多 美和
【企画広報班長】	佐藤慎二郎				
【企画広報係】	吉田 賢一	松本 茂	佐藤慎二郎		
【競技式典部長】	井上 倫明				
【競技式典副部長】	堀 秀一郎				
【式 典 班 長】	後藤 昭徳				
【式 典 副 班 長】	木下 貴紀				
【式 典 係】	木下 貴紀	梶原 裕樹	中川 貴士	一丸健太郎	小野 勇志
【進 行 係】	後藤 昭徳	木下 貴紀			
【放 送 係】	吉田 瑞紀	佐保 洋子			
【賞 状 係】	井上 倫明	吉田 賢一	前田 直樹	前田エリ子	
【観客動員誘導】	工藤 裕貴	田上 圭史	平林 将	瀧口 武志	
【競 技 班 長】	堀 郁郎				
【競 技 副 班 長】	疋田新一郎				
【会場設営係】	森山 智	疋田新一郎	松本 靖史	天草 竹祐	玉井 鉄兵
	松本 平				

【時 計 係】	岸本 博司	玉井 鉄兵							
【掲 示 係】	松本 靖史	松本 平							
【記 録 係】	天草 竹祐	浅井進太郎	高倉 聖史	松本 茂	疋田新一郎				
	佐藤 優美								
【表 示 係】	古手川秀明	姫野 翔	桑原 孝典	間津 俊亮	園山 和槻				
【選 手 係】	梶原 大輔	高倉 寛矢	田中 洋嗣	山田 恭平					
【審 判 係】	渡辺 定	岩本 貴光	櫛原 一郎						
【練 習 会 場 係】	武知 正浩	前田 直樹	二宮真之介	塩野 海風					
【救 護】	元嶋 尉士	厨 真由美	後藤 ゆり						
【宿 泊 輸 送 部 長】	古田 洋祐								
【宿 泊 班 長】	大内 康典								
【宿 泊 係】	池島 増治	山内 功雄	森 新也	長崎 尚	泥谷 紀彦				
	山内 公成	兒玉 充正	久保 巖	高倉 聖矢	本田 裕樹				
【輸 送 班 長】	大内 正勝								
【輸 送 係】	兒玉 康伸	古川 彰宏	阿部 順三	池邊 宏二	堀 智樹				
	長 英一郎	矢野 明玄							
【駐 車 場 係】	泉 友和	是澤 宏幸	徳永 哉						
【警 備 係】	郷司 慧太	阿部 剣征	本川 隆之	日隈 健人	古手川優作				
【補 助 員】	別府大学剣道部				大分舞鶴高等学校剣道部				
	大分上野丘高校剣道部				三重総合高等学校剣道部				
	大分鶴崎高等学校剣道部				臼杵高等学校剣道部				
	大分高等学校剣道部・書道部				楊志館高等学校剣道部				
	杵築高等学校剣道部				大分工業高等学校剣道部				
	明豊高等学校剣道部				柳ヶ浦高等学校剣道部				
	中津東高等学校剣道部				南大分中学校剣道部				
	鶴崎中学校剣道部				植田東中学校剣道部				
	植田中学校剣道部				坂ノ市中学校剣道部				

※新型コロナウイルス感染症対策をするために、別途、下記の専門部を設置する

新型コロナウイルス感染症対策部	——	大分県剣道連盟医科学委員会	(医師) 重見英男 塚本林功
-----------------	----	---------------	----------------

第67回 全日本東西対抗剣道大会 審判員・公開演武者

● 審 判 長 ●



範士
島 野 泰 山
(大 阪)

● 審 判 員 ●



範士
濱 崎 満
(東 京)



範士
高 橋 俊 昭
(京 都)



範士
石 塚 美 文
(大 阪)



範士
二子石 貴 資
(兵 庫)



範士
亀 井 徹
(熊 本)



範士
小 坂 達 明
(大 阪)



範士
江口 忠文
(大分)



範士
鈴木 康生
(和歌山)



範士
豊村 東盛
(東京)



範士
末平 佑二
(石川)



範士
蒔田 実
(千葉)



範士
塚本 博之
(東京)

● 公開演武（日本剣道形） ●



打太刀
教士八段
中倉 幸雄



仕太刀
教士八段
三浦 悟

第67回 全日本東西対抗剣道大会 監督・選手

東 軍

西 軍

中田 琇士 (なかた ゆうじ) 東京都 監督 石田 健一 (いしだ けんいち) 大阪府



- ①範士八段 ②169cm 74kg 73歳
- ③岡山県立備作高等学校
- ④公務員(衆議院主席講師)
- ⑤第5回世界大会団体 優勝
全国警察剣道大会 優勝
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
第29回全日本選手権大会 優勝
明治村剣道大会
- ⑥岡山県



- ①範士八段
- ②170cm 72kg 72歳
- ③大阪府立佐野工業高校
- ④非常勤講師
- ⑤全日本剣道選手権大会 優勝
全国警察官大会 優勝 6回
国民体育大会 優勝
- ⑥大阪府

中山 直樹 (なかやま なおき) 茨城県 先鋒 村上 雷多 (むらかみ らいた) 大阪府



- ①錬士六段
- ②175cm 90kg 31歳
- ③国土舘大学
- ④教員
- ⑤全日本学生(団体) 3位
全国教職員大会 優勝
- ⑥茨城県



- ①六段
- ②182cm 95kg 31歳
- ③筑波大学大学院
- ④教員(大阪体育大学)
- ⑤全日本学生剣道優勝大会 優勝
全日本教職員剣道大会(団体優勝2回、個人準優勝)
全日本都道府県対抗剣道大会 準優勝
全日本剣道選手権大会 準優勝
- ⑥北海道

菊池 竜平 (きくち りゅうへい) 静岡県 34将 三雲 悠佑 (みくも ゆうすけ) 滋賀県



- ①六段
- ②170cm 72kg 33歳
- ③中京大学
- ④教員(静岡県立池新田高等学校)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会 3位
全国教職員剣道大会 高・大・教委の部 3位
全日本剣道選手権大会
- ⑥静岡県



- ①六段
- ②177cm 85kg 31歳
- ③明治大学
- ④会社員(東レ株式会社)
- ⑤全日本剣道選手権大会 5回
国民体育大会 4回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 8回 優勝1回
全日本実業団剣道大会 2回 ベスト8
全日本学生剣道優勝大会 3回
- ⑥大分県

竹越 充 (たけこし みつる) 埼玉県 33将 芳野 哲志 (よしの てつし) 福岡県



- ①六段
- ②173cm 75kg 33歳
- ③早稲田大学
- ④会社員(NTTコミュニケーションズ株式会社)
- ⑤全日本選手権大会
国民体育大会 4回
全日本都道府県対抗 2回
- ⑥埼玉県



- ①錬士六段
- ②165cm 67kg 33歳
- ③日本大学
- ④会社員
- ⑤全日本実業団剣道大会 準優勝
全日本都道府県対抗剣道大会
- ⑥福岡県

東 軍

西 軍

鹿野 允成 (しかの みつなり) 山梨県 32将 軽米 克尊 (かるこめ よしたか) 奈良県



- ① 錬士七段
- ② 172cm 70kg 36歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 教員(甲府市立甲府商業高等学校)
- ⑤ 東西対抗剣道大会
全日本選手権
全日本都道府県対抗
全国教職員大会 個人3位
国民体育大会
- ⑥ 宮城県



- ① 錬士七段
- ② 175cm 75kg 35歳
- ③ 筑波大学大学院
- ④ 准教授(天理大学体育学部)
- ⑤ 全日本学生剣道優勝大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国教職員剣道大会
- ⑥ 千葉県

栄花 友彦 (えいが ともひこ) 埼玉県 31将 植月 基行 (うえつき もとゆき) 岡山県



- ① 錬士七段
- ② 177cm 84kg 37歳
- ③ 函館大学
- ④ 会社員(伊田テクノス(株))
- ⑤ 全日本学生剣道選手権大会
全日本学生剣道優勝大会
全日本学生剣道東西対抗試合
- ⑥ 北海道



- ① 教士七段
- ② 163cm 67kg 38歳
- ③ 東京農業大学
- ④ 教員(岡山県立勝間田高等学校)
- ⑤ 国民体育大会
全国教職員剣道大会
- ⑥ 岡山県

鈴木慎太郎 (すずき しんたろう) 栃木県 30将 椿 武 (つばき たけし) 兵庫県



- ① 錬士七段 ② 165cm 65kg 37歳
- ③ 筑波大学
- ④ 教諭(栃木県立小山高等学校)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 2回
全日本東西対抗剣道大会 2回
国民体育大会 5位 2回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 2回
全国教職員剣道大会 団体準優勝
全国高等学校剣道大会 団体準優勝
全国高等学校剣道大会 3位
- ⑥ 栃木県



- ① 錬士七段
- ② 174cm 80kg 38歳
- ③ 鹿屋体育大学大学院
- ④ 教員(神戸親和女子大学)
- ⑤ 全国教職員剣道大会 4回
全日本剣道選手権大会
- ⑥ 群馬県

長橋 徹 (ながはし とおる) 群馬県 29将 濱口 嘉洋 (はまぐち よしひろ) 長崎県



- ① 錬士七段
- ② 173cm 74kg 38歳
- ③ 樹徳高等学校
- ④ 長橋工業
- ⑤ 全日本都道府県対抗剣道優勝大会
- ⑥ 群馬県



- ① 錬士七段
- ② 175cm 65kg 38歳
- ③ 長崎大学
- ④ 教諭(長崎県立大村高等学校)
- ⑤ 全国中学校総合体育大会
全国教職員剣道大会(個人、団体ベスト8)
国民体育大会
- ⑥ 長崎県

東 軍

西 軍

軽米 拓磨 (かるこめ たくま) 千葉県 28将 友利 浩介 (ともり こうすけ) 沖縄県



- ①教士七段
- ②182cm 86kg 39歳
- ③国士舘大学
- ④教員
- ⑤全日本剣道選手権大会
東西対抗大会
全国都道府県対抗大会 3位2回
全国教職員剣道大会(団体優勝、個人3位)
国民体育大会 5位
- ⑥千葉県



- ①教士七段
- ②177cm 82kg 40歳
- ③筑波大学
- ④教諭(昭和薬科大学附属高等学校中学校)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国教職員剣道大会 個人ベスト8、優秀選手賞
- ⑥沖縄県

鈴木 規仁 (すずき のりひと) 茨城県 27将 小川 泰伸 (おがわ やすのぶ) 和歌山県



- ①七段
- ②178cm 84kg 39歳
- ③順天堂大学
- ④教員
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会 準優勝2回
全国教職員剣道大会 団体優勝
- ⑥茨城県



- ①教士七段
- ②173cm 79kg 41歳
- ③国士舘大学
- ④公務員(和歌山県教育庁)
- ⑤全国教職員剣道大会 個人・団体優勝
国民体育大会 4位2回、5位1回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
- ⑥和歌山県

橋本 桂一 (はしもと けいいち) 埼玉県 26将 岡西 貴史 (おかにし たかふみ) 香川県



- ①教士七段 ②169cm 69kg 40歳
- ③帝京大学
- ④会社員(伊田テクノス(株))
- ⑤全日本選手権大会 ベスト8
全日本東西対抗大会
全日本都道府県対抗大会 優勝1回、3位1回
国民体育大会 優勝1回
全日本選抜七段選手権大会 優勝1回
全日本実業団大会 準優勝1回
全日本学生選手権大会 3位1回
- ⑥埼玉県



- ①錬士七段
- ②172cm 76kg 41歳
- ③大阪経済法科大学
- ④刑務官(高松刑務所)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会4回
- ⑥奈良県

内田 勝之 (うちだ かつゆき) 静岡県 25将 小村 健 (おむら けん) 島根県



- ①七段
- ②170cm 83kg 41歳
- ③筑波大学
- ④教員(磐田東高等学校)
- ⑤全日本選手権6回
全国教職員大会 優勝
国民体育大会 優勝
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 準優勝
- ⑥静岡県



- ①教士七段
- ②174cm 74kg 41歳
- ③筑波大学
- ④教員(島根県立大社高等学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全国教職員剣道大会 個人優勝
国民体育大会剣道大会 5位
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
- ⑥島根県

東 軍

西 軍

金澤 克美 (かなざわ かつみ) 福島県

24将

森 洋輔 (もり ようすけ) 兵庫県



- ①教士七段
- ②178cm 75kg 41歳
- ③東海大学
- ④教員(福島県立岩瀬農業高等学校)
- ⑤全国教職員剣道大会
- ⑥福島県



- ①錬士七段
- ②175cm 67kg 41歳
- ③関西学院大学
- ④明石市教育委員会 指導主事
- ⑤全日本学生剣道優勝大会
- ⑥全国教職員剣道大会 6回
- ⑥兵庫県

平岡 右照 (ひらおか ゆうしょう) 茨城県

23将

繁松 大介 (しげまつ だいすけ) 大分県



- ①教士七段
- ②175cm 95kg 43歳
- ③筑波大学
- ④僧侶(宗教法人 密藏院)
- ⑤全日本剣道選手権大会
- 国民体育大会
- 都道府県大会
- 全日本学生優勝大会
- インターハイ
- ⑥茨城県



- ①錬士七段
- ②174cm 74kg 43歳
- ③中央大学
- ④教員(学校法人別府大学明豊中学・高等学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会
- 全日本都道府県対抗剣道優勝大会
- 国民体育大会剣道大会
- ⑥大分県

渡邊 克礼 (わたなべ かつのり) 福島県

22将

松浦 武士 (まつうら たけし) 兵庫県



- ①教士七段
- ②176cm 77kg 44歳
- ③筑波大学
- ④教員(福島県立いわき総合高等学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会
- 国民体育大会剣道競技成年の部
- 全国教職員剣道大会
- 都道府県対抗剣道優勝大会
- ⑥福島県



- ①教士七段
- ②170cm 75kg 45歳
- ③天理大学
- ④教諭(兵庫県立加古川南高等学校)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道大会
- 全国教職員剣道大会(個人・団体)
- 全日本学生剣道優勝大会
- ⑥兵庫県

天野 聡 (あまの さとし) 神奈川県

21将

川内辰一郎 (かわうち しんいちろう) 鹿児島県



- ①教士七段
- ②163cm 66kg 44歳
- ③東海大学大学院
- ④教員(東海大学)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会 5回 ベスト8 2回
- 全国教職員剣道大会個人の部 5回 優勝2回
- 全国教職員剣道大会団体の部 4回 3位1回
- ⑥福岡県



- ①教士七段
- ②168cm 75kg 45歳
- ③鹿屋体育大学
- ④教員
- ⑤全国教職員剣道大会 団体2位
- 全国教職員剣道大会 個人3位
- 全日本都道府県対抗剣道優勝大会 ベスト8
- ⑥鹿児島県

東 軍

西 軍

小関 太郎 (こせき たろう)

東京都

20将

立花 義人 (たちばな よしと) 福岡県



- ①教士七段
- ②172cm 72kg 45歳
- ③東海大学
- ④警視庁警察官教育課剣道指導室教師
- ⑤全日本剣道選手権 3位
全国警察剣道大会 優勝3回
国民体育大会 優勝1回、2位4回
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥千葉県



- ①教士七段
- ②171cm 67kg 45歳
- ③同志社大学
- ④会社員(九州電力(株))
- ⑤全日本剣道選手権大会 3位、ベスト8
全日本東西対抗大会 3回
- ⑥福岡県

高橋 伸友 (たかはし のぶとも) 秋田県

19将

竹中 淑浩 (たけなか よしひろ) 滋賀県



- ①教士七段
- ②175cm 80kg 46歳
- ③順天堂大学
- ④教諭(秋田市立秋田商業高等学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会4回
全日本東西対抗剣道大会4回
国民体育大会9回
全国教職員剣道大会6回
- ⑥秋田県



- ①教士七段
- ②171cm 71kg 46歳
- ③近畿大学
- ④会社員(東レ大阪本社)
- ⑤全日本剣道選手権大会5回
国民体育大会11回 3位1回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会10回
全日本実業団剣道大会 2位1回
全日本学生剣道優勝大会 優勝1回
- ⑥兵庫県

早田 千広 (はやた ちひろ) 岐阜県

18将

木原 克之 (きはら かつゆき) 和歌山県



- ①教士七段
- ②165cm 65kg 46歳
- ③専修大学玉名高等学校
- ④会社員(日本耐酸壘工業(株))
- ⑤国民体育大会
都道府県剣道大会
全日本実業団剣道大会
- ⑥熊本県



- ①教士七段 ②186cm 86kg 46歳
- ③国士舘大学
- ④教諭(和歌山県立和歌山工業高等学校)
- ⑤全日本学生剣道優勝大会 優勝・準優勝
全日本選手権大会4回 ベスト8、優秀選手賞
全日本東西対抗剣道大会4回
国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道大会
全国教職員剣道大会 3位1回
- ⑥和歌山県

石原 一幸 (いしはら かずゆき) 群馬県

17将

竹中健太郎 (たけなか けんたろう) 鹿児島県



- ①教士八段
- ②174cm 79kg 55歳
- ③日本体育大学
- ④教諭(前橋市立みづき中学校)
- ⑤国民体育大会 優勝
全国教職員大会 優勝
全日本剣道選手権大会 3位
全日本東西対抗剣道大会4回
- ⑥群馬県



- ①教士八段 ②174cm 72kg 49歳
- ③筑波大学
- ④教授(鹿屋体育大学)
- ⑤世界剣道選手権大会 個人2位
全国教職員剣道大会(団体・個人優勝)
国民体育大会 2位
全日本選抜七段選手権大会 2位、3位
全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗大会
- ⑥兵庫県

東 軍

西 軍

安良岡 修 (やすらおか おさむ) 栃木県

16将

米田 敏郎 (こめだ としろう) 熊本県



- ①教士八段
- ②180cm 78kg 57歳
- ③中京大学
- ④教員(小山市立小山城南中学校)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会 3位
全日本東西対抗剣道大会 3回
国民体育大会 5回 4位 1回
全国選抜剣道七段大会
全日本道場対抗剣道優勝大会 8回 優勝
- ⑥栃木県



- ①教士八段
- ②165cm 70kg 52歳
- ③中央大学
- ④教諭
- ⑤国民体育大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本選手権大会
- ⑥熊本県

高橋 直志 (たかはし なおし) 新潟県

15将

寺園 誠 (てらぞの まこと) 奈良県



- ①教士八段
- ②176cm 80kg 58歳
- ③國學院大學
- ④教員(帝京長岡高等学校 教頭)
- ⑤国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
全国教職員剣道大会
- ⑥新潟県



- ①教士八段
- ②168cm 76kg 57歳
- ③鹿児島商工高等学校(現 樟南高校)
- ④刑務官
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥鹿児島県

保坂 武志 (ほさか たけし) 埼玉県

14将

植田 慎吾 (うえだ しんご) 熊本県



- ①教士八段
- ②175cm 75kg 57歳
- ③東海大学
- ④教員(埼玉栄高等学校)
- ⑤国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道大会 2位
全国教職員剣道大会 団体優勝
- ⑥秋田県



- ①教士八段
- ②181cm 85kg 54歳
- ③日本体育大学
- ④教諭(熊本県立熊本北高等学校)
- ⑤全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
「丸自蔵人」顕彰 全日本選抜剣道七段選手権大会
全国教職員大会(個人2位、団体優勝2回、2位1回、3位2回)
- ⑥熊本県

平尾 泰 (ひらお やすし) 東京都

13将

八木 克潔 (やぎ かつきよ) 滋賀県



- ①教士八段 ②170cm 79kg 54歳
- ③東海大学
- ④警察官
- ⑤世界剣道選手権大会 3回 団体優勝
全日本剣道選手権大会 6回
国民体育大会 優勝2回、2位2回
全日本東西対抗
全国警察剣道大会 優勝5回(団体)
全国警察剣道選手権大会 2位2回、3位2回
全日本都道府県対抗
- ⑥北海道



- ①教士八段
- ②182cm 85kg 60歳
- ③東海大学
- ④滋賀県スポーツ協会、滋賀県立体育館・武道館管理センター
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会 2回
全国教職員剣道大会 2回
- ⑥滋賀県

東 軍

西 軍

矢野 雅之 (やの まさゆき)

東京都

12将

山崎 克弘 (やまさき かつひろ) 愛媛県



- ①教士八段
- ②175cm 77kg 54歳
- ③国士舘大学
- ④公益財団法人 全日本剣道連盟
- ⑤全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 2回
国民体育大会 3回 3位 1回
寛仁親王杯剣道八段選抜大会 3回 3位 1回
- ⑥東京都



- ①教士八段 ②181cm 75kg 53歳
- ③松山大学
- ④刑務官(松山刑務所 西条刑務支所)
- ⑤全日本学生剣道選手権大会
全日本学生剣道優勝大会
全日本学生剣道東西対抗試合
全国矯正職員武道大会選手権試合
全国矯正職員武道大会施設対抗試合
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥広島県

川野 学 (かわの まなぶ)

福井県

11将

三股 憲基 (みまた のりもと) 大分県



- ①教士八段
- ②176cm 88kg 58歳
- ③専修大学
- ④警察官(福井県警察交通部首席参事官)
- ⑤全国警察官大会 8回
- ⑥福井県



- ①教士八段
- ②177cm 80kg 54歳
- ③駒澤大学
- ④教員(大分県立大分舞鶴高等学校)
- ⑤全国教職員剣道大会 団体 3位
全日本都道府県対抗剣道大会 3回
- ⑥大分県

岩切 公治 (いわきり きみはる) 千葉県

10将

藤井 良一 (ふじい りょういち) 山口県



- ①教士八段
- ②176cm 80kg 54歳
- ③国際武道大学
- ④教員(国際武道大学)
- ⑤国民体育大会 2回 3位 1回
全国教職員大会 4回
全日本都道府県対抗優勝大会 3回
全日本東西対抗剣道大会 4回
- ⑥宮崎県



- ①教士八段
- ②169cm 68kg 60歳
- ③国士舘大学
- ④刑務官(美祢社会復帰促進センター)
- ⑤全国矯正職員剣道大会 2回 3位 1回
国民体育大会 5回 優勝 1回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 4回 3位 1回
全日本東西対抗剣道大会 2回
- ⑥福岡県

高野 力 (たかの ちから) 神奈川県

9将

清田 浩之 (せいた ひろゆき) 和歌山県



- ①教士八段
- ②180cm 82kg 57歳
- ③拓殖大学
- ④(株)東陽社 代表取締役
- ⑤国民体育大会剣道競技
全日本都道府県対抗大会 3位 2回
全国連盟対抗大会 優勝
全日本実業団剣道大会 3位
全日本学生選手権大会
- ⑥神奈川県



- ①教士八段
- ②183cm 105kg 57歳
- ③大阪体育大学
- ④教職員(和歌山県立橋本高等学校)
- ⑤全日本学生剣道優勝大会 優勝
国民体育大会剣道大会
全国都道府県対抗剣道優勝大会
全国教職員剣道大会
- ⑥岡山県

東 軍

榊 悌宏 (さかき よしひろ) 千葉県



- ①教士八段
- ②172cm 74kg 58歳
- ③東海大学
- ④教員
- ⑤全日本学生剣道選手権大会 ベスト8
全国教職員剣道大会団体
- ⑥徳島県

西 軍

8将 國友 秀三 (くにとも しゅうぞう) 福岡県



- ①教士八段
- ②173cm 72kg 58歳
- ③国士舘大学
- ④教員(福岡舞鶴高校・福岡舞鶴誠和中学校 校長)
- ⑤全日本選抜剣道八段優勝大会
国民体育大会
全国教職員剣道大会
- ⑥福岡県

有馬 裕史 (ありま ひろし) 神奈川県



- ①教士八段
- ②182cm 75kg 57歳
- ③東海大学
- ④教諭(神奈川県立橋本高等学校)
- ⑤全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会剣道大会
全国教職員剣道大会(団体・個人)
- ⑥神奈川県

7将 山中 章義 (やまなか あきよし) 広島県



- ①教士八段
- ②177cm 83kg 59歳
- ③盈進高等学校
- ④主任矯正処遇官(広島拘置所)
- ⑤全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本八段選抜選手権大会
- ⑥広島県

湯澤 寛 (ゆざわ ひろし) 秋田県



- ①教士八段 ②178cm 78kg 57歳
- ③大阪体育大学
- ④教員(秋田県立新屋高等学校 教頭)
- ⑤全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本剣道選手権大会
国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国教職員剣道大会 2位・3位
- ⑥秋田県

6将 佐伯 浩美 (さえき ひろみ) 宮崎県



- ①教士八段
- ②172cm 72kg 58歳
- ③筑波大学
- ④教員(宮崎県立高千穂高等学校 校長)
- ⑤全国教職員剣道大会 優勝・2位・3位
全日本選抜剣道八段優勝大会3回
全日本東西対抗剣道大会5回
国民体育大会 優勝
- ⑥熊本県

栄花 英幸 (えいが ひでゆき) 北海道



- ①教士八段 ②176cm 90kg 57歳
- ③東海大学
- ④教員
- ⑤全日本選手権大会 準優勝1回・3位2回
全国教職員大会(団体優勝1回・準優勝1回・個人3位)
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 優勝2回・3位1回
国民体育大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本八段選抜大会 優勝
- ⑥北海道

5将 吉田 一秀 (よしだ かずひで) 大阪府



- ①教士八段
- ②175cm 74kg 58歳
- ③国士舘大学
- ④教諭
- ⑤全日本東西対抗剣道大会
全日本選抜剣道八段優勝大会 3位
全国教職員大会(団体・個人優勝)
国民体育大会
- ⑥大阪府

東 軍

西 軍

大河内鉄彦 (おおこうち てつひこ) 愛知県

4将

長納 憲二 (ながの けんじ) 兵庫県



- ①教士八段 ②177cm 75kg 60歳
- ③中央大学
- ④春日井市役所教育委員会学校教育課会計年度任用職員
- ⑤全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗大会
全日本都道府県対抗大会
国民体育大会
全国警察官大会
- ⑥香川県



- ①教士八段 ②173cm 78kg 59歳
- ③国士舘大学
- ④教員(滝川第二中学校・高等学校)
- ⑤全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本東西対抗剣道大会3回
国民体育大会2回
全日本都道府県対抗剣道大会6回 3位1回
全国連盟対抗剣道優勝大会4回 2位1回
全国教職員剣道大会18回 優秀選手
- ⑥大阪府

恩田 浩司 (おんだ こうじ) 東京都

3将

稲富 政博 (いなどみ まさひろ) 佐賀県



- ①教士八段 ②177cm 74kg 60歳
- ③私立修徳高等学校
- ④会社員(東急住宅リース株式会社)
- ⑤全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
- ⑥東京都



- ①教士八段
- ②174cm 75kg 60歳
- ③県立有田工業高校
- ④会社員(九電工佐賀支店 総務部長)
- ⑤全日本剣道八段優勝大会 優勝・3位
全日本都道府県対抗剣道大会 2位
全日本東西対抗剣道大会 優秀選手賞、優秀試合賞
全日本選手権大会
全国警察官大会
- ⑥佐賀県

東 良美 (ひがし よしみ) 愛知県

副将

重松 隆 (しげまつ たかし) 滋賀県



- ①範士八段
- ②174cm 80kg 64歳
- ③法政大学
- ④ネットヨタ名古屋師範・星城大学師範
- ⑤全日本八段選抜剣道大会 優勝・準優勝・3位
全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全国警察官大会
国民体育大会
- ⑥鹿児島県



- ①範士八段
- ②177cm 76kg 69歳
- ③大分県立中津工業高等学校
- ④無職
- ⑤全日本剣道選手権大会 4回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 2位
全日本東西対抗剣道大会11回
全日本選抜剣道八段優勝大会12回 3位1回
国民体育大会14回 優勝1回
- ⑥大分県

古川 和男 (ふるかわ かずお) 北海道

大将

大城戸 功 (おおきど いさお) 愛媛県



- ①範士八段 ②176cm 66kg 67歳
- ③東海大学
- ④大学非常勤講師
- ⑤第4回世界選手権大会 個人準優勝
全日本選手権大会 準優勝
全日本東西対抗剣道大会13回
全日本八段選抜大会 優勝・準優勝・3位
国民体育大会
スポーツアコード武術大会 優勝2回
全国教職員大会 個人団体優勝
- ⑥長崎県



- ①範士八段
- ②180cm 80kg 65歳
- ③松山大学
- ④松山魚市場(株)取締役
- ⑤世界剣道選手権大会 個人優勝
全日本剣道選手権大会 3位1回
選抜剣道八段優勝大会 3位1回
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗大会 3位3回
国民体育大会
- ⑥愛媛県

第67回 全日本東西対抗剣道大会 監督・選手(女子の部)

東 軍

西 軍

中田 琇士 (なかつた ゆうじ) 東京都 監督 石田 健一 (いしだ けんいち) 大阪府



- ①範士八段 ②169cm 74kg 73歳
- ③岡山県立備作高等学校
- ④公務員(衆議院主席講師)
- ⑤第5回世界大会団体 優勝
全国警察剣道大会 優勝
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
第29回全日本選手権大会 優勝
明治村剣道大会
- ⑥岡山県



- ①範士八段
- ②170cm 72kg 72歳
- ③大阪府立佐野工業高校
- ④非常勤講師
- ⑤全日本剣道選手権大会 優勝
全国警察官大会 優勝6回
国民体育大会 優勝
- ⑥大阪府

諸岡 温子 (もろおか あつこ) 東京都 先鋒 津守 葵衣 (つもり あおい) 大分県



- ①三段
- ②166cm 54kg 20歳
- ③中央大学
- ④学生
- ⑤全日本女子剣道選手権大会 優勝
- ⑥福岡県



- ①三段
- ②167cm 56kg 20歳
- ③法政大学
- ④学生
- ⑤全国高等学校剣道選抜大会 準優勝
王竜旗高校剣道大会 準優勝
全国高等学校剣道選抜大会
王竜旗高校剣道大会 3位
- ⑥大分県

志藤 綾子 (しとう あやこ) 埼玉県 次鋒 大亀 杏 (おおがめ あんず) 大阪府



- ①五段
- ②166cm 54kg 28歳
- ③大東文化大学
- ④会社員(伊田テクノス(株))
- ⑤全日本女子剣道選手権大会 5回
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
国民体育大会
全日本実業団女子剣道大会 優勝
- ⑥山形県



- ①五段
- ②166cm 55kg 26歳
- ③明治大学
- ④会社員(パナソニック(株))
- ⑤インターハイ 団体優勝
インカレ 団体優勝
全日本実業団剣道大会 準優勝
全日本剣道女子選手権大会
- ⑥愛媛県

齋藤 美紀 (さいとう みき) 神奈川県 中堅 中野麻衣子 (なかの まいこ) 福岡県



- ①五段
- ②155cm 56kg 31歳
- ③筑波大学
- ④教員(神奈川県立大和東高等学校)
- ⑤全日本女子剣道選手権大会 3位
全日本都道府県対抗剣道大会 2位
全日本女子学生優勝大会 優勝2回・準優勝1回
- ⑥神奈川県



- ①錬士六段
- ②153.5cm 50kg 33歳
- ③日本体育大学 九州大学大学院在学中
- ④会社員(第一生命保険株式会社)
- ⑤全日本女子剣道選手権大会 2回
国民体育大会 5回 準優勝2回、3位1回
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 4回 ベスト8 1回
全日本女子学生剣道優勝大会 優勝1回、準優勝1回
- ⑥福岡県

東 軍

西 軍

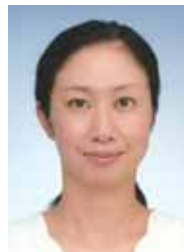
正代小百合 (しょうだい さゆり) 東京都

副将

宮川瑠璃子 (みやがわ るりこ) 山口県



- ① 錬士六段
- ② 158cm 54kg 35歳
- ③ 八代白百合学園高等学校
- ④ 警察官
- ⑤ 全日本女子剣道選手権大会 2回 優勝
世界剣道選手権大会 個人 3位
全国警察剣道選手権大会 優勝
国民体育大会剣道競技 優勝
- ⑥ 熊本県



- ① 錬士六段
- ② 167cm 58kg 36歳
- ③ 筑波大学
- ④ 教員
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会 4回
全日本女子剣道選手権大会10回 3位 2回
国民体育大会 1位
全日本女子学生剣道優勝大会 優勝
全国高等学校剣道大会 団体優勝 3回
- ⑥ 山口県

平塚 恭子 (ひらつか きょうこ) 山梨県

大将

下川 美佳 (しもかわ みか) 鹿児島県



- ① 錬士七段
- ② 165cm 63kg 43歳
- ③ 国土舘大学
- ④ 教員(甲府市立甲府商業高校)
- ⑤ 全日本女子学生剣道優勝大会 3位
全日本女子剣道選手権大会 優勝
全日本東西対抗剣道大会
世界剣道選手権大会 団体優勝
国民体育大会剣道大会 4位
- ⑥ 山梨県



- ① 教士七段
- ② 161cm 62kg 41歳
- ③ 鹿屋体育大学大学院
- ④ 教員(鹿屋体育大学)
- ⑤ 世界剣道選手権大会(個人 3位、団体優勝 2回)
全日本東西対抗剣道大会 2回 優秀選手 1回
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会(準優勝、優秀選手 2回)
全国教職員剣道大会女子個人の部 優勝 2回、準優勝 2回、3位 1回
全日本女子剣道選手権大会
- ⑥ 福岡県

第67回 全日本東西対抗剣道大会 対戦表(女子の部)

		順位	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
東 軍 監督 中田 琇士	県名	東京	埼玉	神奈川	東京	山梨		
	称段	三	五	五	錬六	錬七		
	氏名	諸岡温子	志藤綾子	齋藤美紀	正代小百合	平塚恭子		
	年齢	20	28	31	35	43		
	反則							
	有効打突部位							
								勝

西 軍 監督 石田 健一	有効打突部位							
	反則							
	県名	大分	大阪	福岡	山口	鹿児島		
	称段	三	五	錬六	錬六	教七		
	氏名	津守葵衣	大亀杏	中野麻衣子	宮川瑠璃子	下川美佳		
	年齢	20	26	33	36	41		
								勝

試合時間	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒
------	----	----	----	----	----

第67回 全日本東西対抗剣道大会 対戦表

東軍 監督 中田 琇士	順位	先鋒	34将	33将	32将	31将	30将	29将	28将	27将	26将	25将	24将	23将	22将	21将	20将
	県名	茨城	静岡	埼玉	山梨	埼玉	栃木	群馬	千葉	茨城	埼玉	静岡	福島	茨城	福島	神奈川	東京
	称段	錬六	六	六	錬七	錬七	錬七	錬七	教七	七	教七	七	教七	教七	教七	教七	教七
	氏名	中山直樹	菊池竜平	竹越充	鹿野允成	栄花友彦	鈴木慎太郎	長橋徹	軽米拓磨	鈴木規仁	橋本桂一	内田勝之	金澤克美	平岡右照	渡邊克礼	天野聡	小関太郎
	年齢	31	33	33	36	37	37	38	39	39	40	41	41	43	44	44	45
	反則																
	有効打突部位																

西軍 監督 石田 健一	有効打突部位																
	反則																
	県名	大阪	滋賀	福岡	奈良	岡山	兵庫	長崎	沖縄	和歌山	香川	島根	兵庫	大分	兵庫	鹿児島	福岡
	称段	六	六	錬六	錬七	教七	錬七	錬七	教七	教七	錬七	教七	錬七	錬七	教七	教七	教七
	氏名	村上雷多	三雲悠佑	芳野哲志	軽米克尊	植月基行	椿武	濱口嘉洋	友利浩介	小川泰伸	岡西貴史	小村健	森洋輔	繁松大介	松浦武士	川内辰一郎	立花義人
	年齢	31	31	33	35	38	38	38	40	41	41	41	41	43	45	45	45

試合時間	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

19将	18将	17将	16将	15将	14将	13将	12将	11将	10将	9将	8将	7将	6将	5将	4将	3将	副将	大将	
秋田	岐阜	群馬	栃木	新潟	埼玉	東京	東京	福井	千葉	神奈川	千葉	神奈川	秋田	北海道	愛知	東京	愛知	北海道	
教七	教七	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	範八	範八	
高橋伸友	早田千広	石原一幸	安良岡修	高橋直志	保坂武志	平尾泰	矢野雅之	川野学	岩切公治	高野力	榊梯宏	有馬裕史	湯澤寛	栄花英幸	大河内鉄彦	恩田浩司	東良美	古川和男	
46	46	55	57	58	57	54	54	58	54	57	58	57	57	57	60	60	64	67	
																			勝

滋賀	和歌山	鹿児島	熊本	奈良	熊本	滋賀	愛媛	大分	山口	和歌山	福岡	広島	宮崎	大阪	兵庫	佐賀	滋賀	愛媛	
教七	教七	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	教八	範八	範八	
竹中淑浩	木原克之	竹中健太郎	米田敏郎	寺園誠	植田慎吾	八木克潔	山崎克弘	三股憲基	藤井良一	清田浩之	國友秀三	山中章義	佐伯浩美	吉田一秀	長納憲二	稲富政博	重松隆	大城戸功	
46	46	49	52	57	54	60	53	54	60	57	58	59	58	58	59	60	69	65	勝

分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

通算成績：男子（東軍25勝・西軍39勝・1引き分け）

回数	期 日	会 場	勝 敗	個 人 成 績
第1回	昭和29年11月28日	宮崎市宮崎県営球場	対試合 西軍19－11東軍	特別選抜試合 第1位 中野八十二（東 京） 第2位 渡辺 敏雄（東 京） 第3位 佐藤 顕（埼 玉）
第2回	昭和30年12月11日	愛知県 名古屋市スポーツ会館	対試合 西軍15－12東軍	特別選抜試合 第1位 中倉 清（鹿児島） 第2位 佐藤 毅（新 潟） 第3位 糸賀 憲一（千 葉） 第3位 小笠原三郎（栃 木）
第3回	昭和31年4月29日	仙台市 宮城球場特設道場	抜き試合 西軍5人残り勝	第1位 榊原 正（愛 知）10人抜き 第2位 中倉 清（鹿児島）9人抜き 第3位 杉江 憲（京 都）7人抜き
第4回	昭和32年4月28日	福岡市 スポーツセンター	抜き試合 西軍3人残り勝	第1位 伊保 清次（東 京）10人抜き 第2位 阿部 三郎（東 京）6人抜き 第3位 田島 善人（佐 賀）6人抜き
第5回	昭和33年7月20日	札幌市 中島スポーツセンター	対試合 東軍15（28点）－ 15西軍（26点）	特別選抜試合 第1位 菅原恵三郎（北海道） 第2位 萱場 照雄（宮 城） 第3位 緒方 敬義（熊 本） 第3位 六反田俊雄（大 阪）
第6回	昭和34年4月19日	愛知県 犬山特設会場	抜き試合 東軍14人残り勝	第1位 鈴木 守治（愛 知）11人抜き 第2位 伊保 清次（東 京）8人抜き 第3位 大槻 芳男（京 都）4人抜き
第7回	昭和36年9月24日	愛知県 西条市体育館	対試合 西軍16－14東軍	特別選抜試合 第1位 伊保 清次（東 京） 第2位 津脇 良夫（山 口） 第3位 森島 健男（東 京） 第3位 鈴木 守治（愛 知）
第8回	昭和37年 7月24日・25日	那覇市 琉球大学体育館	対試合 西軍18－7東軍	特別選抜試合 第1位 園田 政治（大 阪） 第2位 溝口 満雄（鹿児島） 第3位 滝沢 栄八（北海道） 第3位 菊池 伝（神奈川）
第9回	昭和38年3月17日	佐賀県体育館	抜き試合 西軍（大将戦）勝	第1位 遠藤 忠（神奈川） 第2位 高松 英二（山 口） 第3位 谷口 安則（福 岡）
第10回	昭和39年9月6日	仙台市 宮城スポーツセンター	抜き試合 東軍（大将戦）勝	優秀選手 第1位 桑原 哲明（宮 崎） 中野八十二（東 京） 第2位 高橋 要（宮 城） 大浦 芳彦（福 岡） 第3位 伊保 清次（東 京） 松原 輝幸（福 岡）
第11回	昭和40年4月25日	福岡市 九電記念体育館	抜き試合 東軍（大将戦）勝	優秀選手 第1位 谷川 猛美（香 川） 第2位 秋山福三郎（群 馬） 高松 英二（山 口） 第3位 森島 健男（東 京） 原田 源次（岩 手）
第12回	昭和41年7月14日	札幌市 中島スポーツセンター	抜き試合 西軍10人残り勝	第1位 今井 三郎（新 潟） 第2位 錦戸 真（長 崎） 第3位 井上 晋一（京 都）
第13回	昭和42年9月24日	鹿児島市 鹿児島県営体育館	対試合 東軍12－11西軍	第1位 堀田 國弘（兵 庫） 第2位 児嶋 克（鹿児島） 第3位 山根 昇（岡 山） 宇都 武夫（大 阪）
第14回	昭和43年9月15日	福島市 福島県体育館	対試合 東軍11－9西軍	第1位 佐藤 博信（東 京） 第2位 村山 慶佑（兵 庫） 第3位 好川 忠（福 島） 吉村 正純（鹿児島）
第15回	昭和44年9月14日	広島県立体育館	対試合 西軍13（29点）－ 13東軍（28点）	第1位 古田 坦（山 口） 第2位 原 緑（東 京） 第3位 大久保和政（埼 玉） 翁長 良明（愛 知）
第16回	昭和45年9月20日	高知県民ホール	対試合 西軍13－10東軍	第1位 川崎 道男（佐 賀） 第2位 堀田 國弘（兵 庫） 第3位 山根 昇（岡 山） 大久保和政（埼 玉）
第17回	昭和46年9月19日	新潟県 新潟市営体育館	対試合 東軍10－9西軍	第1位 板東 治雄（埼 玉） 第2位 石原 勝利（熊 本） 第3位 山崎 正平（新 潟） 井上 晋一（京 都）
第18回	昭和47年9月17日	秋田市 秋田県立体育館	抜き試合 東軍3人残り勝	第1位 佐藤 博信（東 京）11人抜き 第2位 谷口 安則（福 岡）10人抜き 第3位 石橋 駒蔵（佐 賀）5人抜き
第19回	昭和48年9月30日	岡山市 岡山武道館	対試合 西軍10－8東軍	第1位 奥島 快男（京 都） 第2位 青木 彦人（大 分） 第3位 三宅大五郎（岡 山） 岩谷 文雄（秋 田）
第20回	昭和49年9月29日	奈良県 奈良市中央体育館	対試合 西軍21－14東軍	
第21回	昭和50年9月28日	岐阜市 岐阜県民体育館	抜き試合 西軍12人残り勝	第1位 伊藤雄三郎（京 都） 第2位 小林 三留（大 阪） 第3位 小沼 宏至（東 京） 優秀選手 松原 輝幸（福 岡）

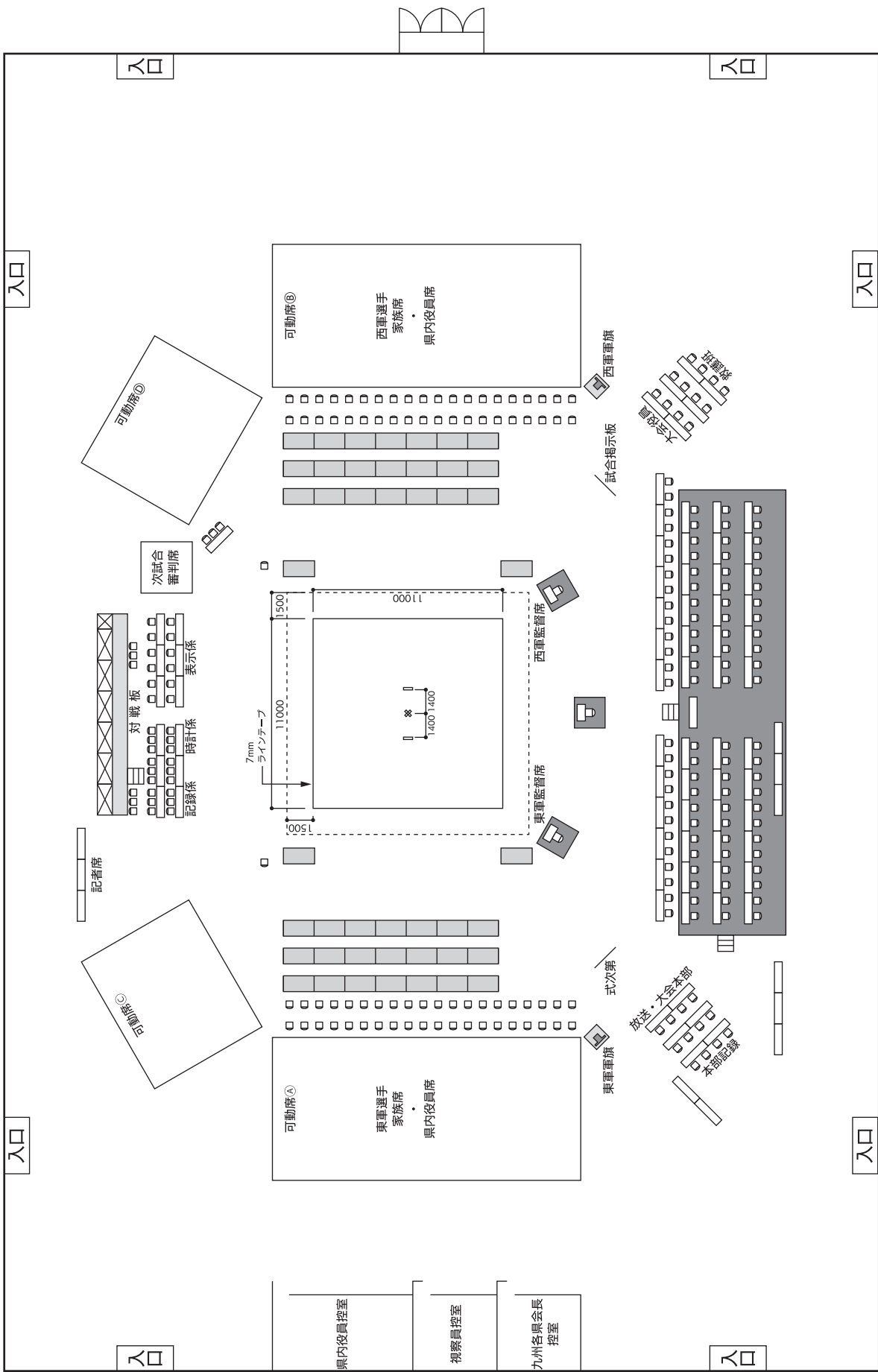
通算成績：女子（東軍4勝・西軍20勝）

回数	期 日	会 場	勝 敗	個 人 成 績
第22回	昭和51年 9 月26日	福岡県 福岡市民体育館	抜き試合 西軍6人残り勝	第1位 村山 慶佑（兵庫） 第2位 矢野 博志（東京） 第3位 中居他輝夫（富山） 優秀選手 緒方 敬夫（熊本） 翁長 良明（愛知） 有満 政明（鹿児島） 塩崎 春雄（愛媛）
第23回	昭和52年 9 月18日	静岡市 静岡県立草薙体育館	対試合 西軍19－14東軍	
第24回	昭和53年10月 1 日	熊本県 熊本市体育館	抜き試合 西軍20人残り勝	第1位 小川 功（大阪） 第2位 池田 健二（福岡） 第3位 森山 衛（東京）
第25回	昭和54年 9 月30日	茨城県 水戸市民体育館	対試合 東軍18－16西軍	
第26回	昭和55年 9 月28日	鳥取市 鳥取武道館	対試合 引き分け 東軍16（32点）－ 16西軍（32点）	
第27回	昭和56年 9 月20日	徳島市 徳島市立体育館	対試合 西軍19－15東軍	
第28回	昭和57年 9 月26日	千葉市 千葉県武道館	対試合 西軍19－16東軍	
第29回	昭和58年 9 月18日	大分市 大分県立総合体育館	対試合 西軍17－16東軍	
第30回	昭和59年 9 月30日	伊勢市 県営総合競技体育館	対試合 東軍16－14西軍	
第31回	昭和60年 9 月22日	大宮市 埼玉栄高等学校体育館	対試合 西軍19－ 5 東軍	
第32回	昭和61年 9 月 8 日	高松市 市民文化センター別館	対試合 西軍13－12東軍	
第33回	昭和62年 9 月27日	京都市 武道センター本館	対試合 西軍13－12東軍	
第34回	昭和63年 9 月18日	青森県 青森市民体育館	対試合 西軍19－11東軍	
第35回	平成元年10月 8 日	栃木市 宇都宮市体育館	対試合 西軍17－12東軍	
第36回	平成 2 年 9 月30日	兵庫県 文化体育館	対試合 東軍18－13西軍	
第37回	平成 3 年 9 月29日	札幌市 中島体育センター別館	対試合 東軍15－14西軍	
第38回	平成 4 年 9 月27日	福岡県 福岡市民体育館	対試合 西軍15－10東軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	
第39回	平成 5 年 9 月19日	神奈川県 横浜文化体育館	対試合 東軍21－14西軍	
第40回	平成 6 年 9 月25日	山口県 スポーツ文化センター	対試合 西軍19－16東軍	
第41回	平成 7 年 9 月24日	岩手県営武道館	対試合 西軍19－16東軍	
第42回	平成 8 年 9 月29日	長崎県立総合体育館	対試合 東軍18－17西軍	
第43回	平成 9 年 9 月28日	山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園武道館	対試合 西軍18－17東軍 女子の部 東軍 3－2 西軍	優秀試合賞 男子 山田 博徳（熊本）－忍足 功（千葉） 女子 横須ます子（大阪）－堀部あけみ（栃木） 優秀選手賞 男子 染谷 恒治（千葉） 近藤 亘（徳島） 山野辺辰美（青森） 倉澤 正（東京） 女子 藤田 弘美（福岡）

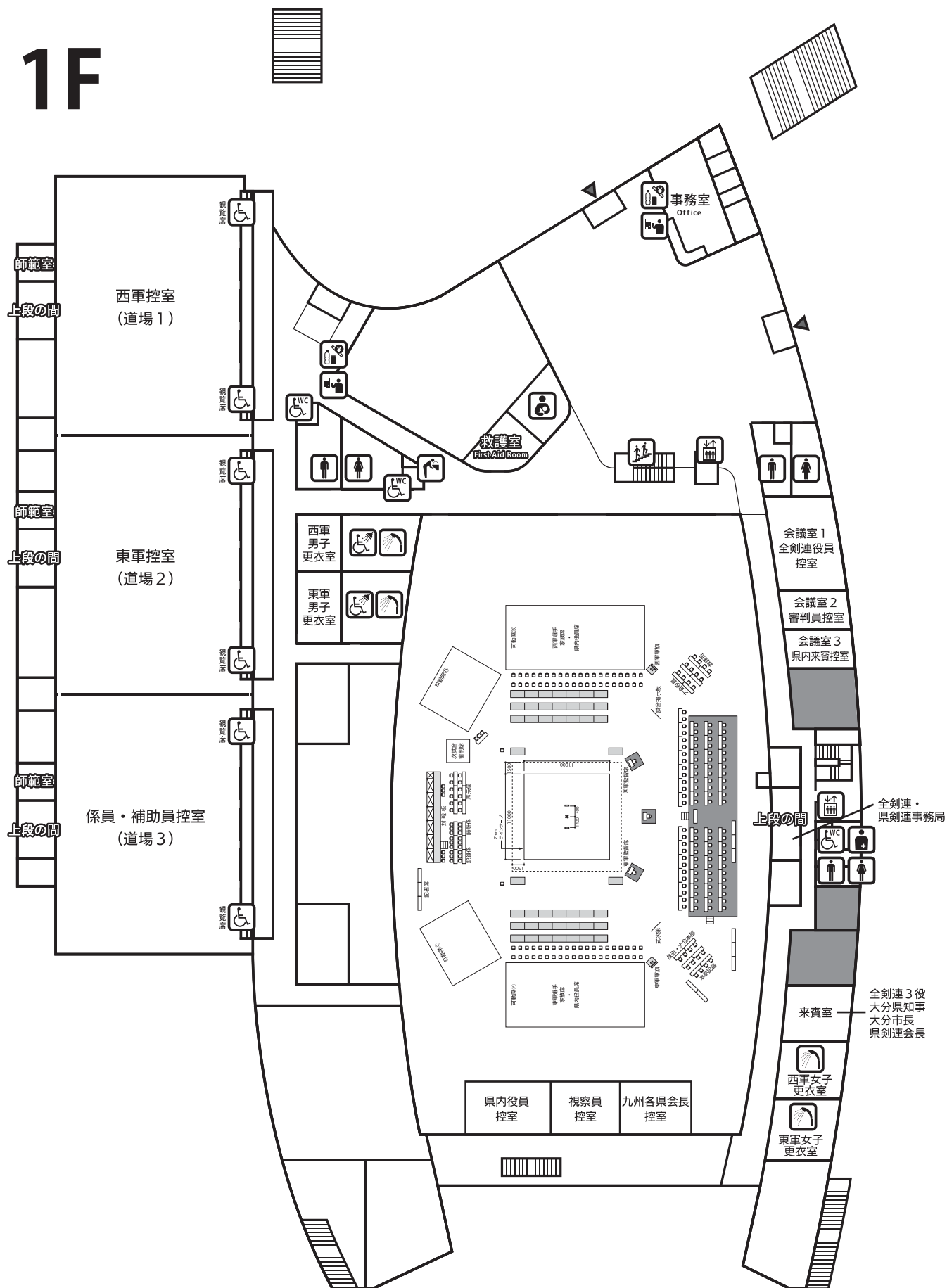
回数	期 日	会 場	勝 敗	個 人 成 績
第44回	平成10年 9 月27日	岐阜県 大垣市武道館	対試合 東軍22－13西軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 山田 博徳(熊本)－岡田 一義(三重) 島野 大洋(大阪)－福本 修二(神奈川) 優秀選手賞 男子 岡本 和明(東京) 小山 正洋(静岡) 神崎 浩 (大阪) 山中 洋介(鳥取) 女子 茂樹(埼玉) 宮崎 弥生(岐阜)
第45回	平成11年 9 月26日	和歌山県 和歌山ビッグホエール	対試合 西軍21－14東軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 西川 清紀(東京)－外山 光利(宮崎) 矢野 博志(東京)－有満 政明(鹿児島) 優秀選手賞 男子 原 忠生(福岡) 宮崎 史裕(神奈川) 加治屋速人(埼玉) 藤原 崇郎(広島) 女子 有馬 光男(大阪) 寺地 里美(東京)
第46回	平成12年 9 月24日	鳥取県立武道館	対試合 東軍19－16西軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 宮崎 正裕(神奈川)－石田 利也(大阪) 目黒 大作(秋田)－山田 博徳(熊本) 優秀選手賞 男子 清野 忍 (山梨) 佐賀 豊 (北海道) 山中 洋介(鳥取) 島本 正勝(東京) 女子 藤元 巖 (京都) 石田真理子(大阪)
第47回	平成13年 9 月23日	群馬県 ぐんま武道館	対試合 東軍18－17西軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 福井 賢次(香川)－鷺見 象平(千葉) 高橋 俊昭(京都)－鈴木 敏雄(北海道) 優秀選手賞 男子 大澤 規男(埼玉) 神崎 浩 (大阪) 久保木文夫(神奈川) 俣木 正喜(鹿児島) 白石 正範(栃木) 女子 長門 康子(広島)
第48回	平成14年 9 月29日	藤枝市 静岡県武道館	対試合 西軍18－17東軍 女子の部 東軍 4－1 西軍	優秀試合賞 男子 神崎 浩 (大阪)－寺地 種寿(東京) 島野 泰山(大阪)－千葉 仁(東京) 優秀選手賞 男子 稲富 政博(佐賀) 亀井 徹 (熊本) 島野 大洋(大阪) 近本 巧 (愛知) 女子 金木 悟 (静岡) 藤田 和恵(福岡)
第49回	平成15年 9 月28日	滋賀県立体育館	対試合 東軍19－16西軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 栄花 直輝(北海道)－矢野 宏光(愛媛) 伊藤 次男(神奈川)－内濱 誠志(兵庫) 優秀選手賞 男子 大澤 規男(埼玉) 三宅 一 (神奈川) 目黒 大作(秋田) 竹中健太郎(鳥取) 堤 慶一(山口) 女子 福田美佐子(長崎)
第50回	平成16年 9 月26日	愛媛県武道館	対試合 西軍20－15東軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 宮崎 正裕(神奈川)－松本 政司(香川) 宮原 昇治(静岡)－江口 忠文(大分) 優秀選手賞 男子 佐藤 充伸(宮城) 武田 牧雄(北海道) 山中 洋介(鳥取) 松尾 好郎(長崎) 女子 藤原 崇郎(広島) 坪田 祐佳(岡山)
第51回	平成17年 9 月25日	鹿児島県 鹿児島アリーナ	対試合 東軍22－13西軍 女子の部 西軍 4－1 東軍	優秀試合賞 男子 栄花 直輝(北海道)－佐藤 誠(兵庫) 忍足 功 (千葉)－山田 博徳(熊本) 優秀選手賞 男子 寺地賢二郎(東京) 末平 佑二(石川) 豊村 東盛(東京) 神崎 浩 (大阪) 女子 亀井 徹 (熊本) 遠藤 律子(秋田)
第52回	平成18年 9 月24日	新潟県 柏崎市総合体育館	対試合 西軍21－14東軍 女子の部 西軍 4－1 東軍	優秀試合賞 男子 石橋 正久(福岡)－安永 宗司(静岡) 高橋 俊昭(京都)－宮澤 保行(宮城) 優秀選手賞 男子 小山 正洋(静岡) 佐藤 桂生(兵庫) 重松 隆 (滋賀) 濱崎 満 (東京) 女子 藤原 崇郎(広島) 稲垣 恵理(岡山)
第53回	平成19年 9 月16日	堀原運動公園 茨城県武道館	対試合 東軍18－17西軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 山村 勝弘(三重)－内濱 誠志(兵庫) 栗田和市郎(東京)－山中 洋介(鳥取) 優秀選手賞 男子 居村 吉記(石川) 神崎 浩 (大阪) 江口 忠文(大分) 忍足 功 (千葉) 女子 千葉 仁 (東京) 藤田 和恵(福岡)
第54回	平成20年 9 月14日	岡山県体育館 (桃太郎アリーナ)	対試合 西軍21－14東軍 女子の部 東軍 3－2 西軍	優秀試合賞 男子 宮崎 正裕(神奈川)－松本 政司(香川) 白石 正範(栃木)－高橋 俊昭(京都) 優秀選手賞 男子 清野 忍 (山梨) 石田 利也(大阪) 難波 康弘(岡山) 谷 勝彦(群馬) 女子 藤原 崇郎(広島) 古谷 崇子(東京)
第55回	平成21年 9 月13日	埼玉県 越谷市立総合体育館	対試合 西軍18－17東軍 女子の部 西軍 4－1 東軍	優秀試合賞 男子 佐藤 誠(兵庫)－岡本 和明(東京) 末野 栄二(鹿児島)－濱崎 満 (東京) 優秀選手賞 男子 平野 誠司(徳島) 佐賀 豊 (北海道) 井島 章 (千葉) 神崎 浩 (大阪) 女子 梯 正治(東京) 下川 美佳(鹿児島)

回数	期 日	会 場	勝 敗	個 人 成 績
第56回	平成22年 9 月19日	佐賀県総合体育館	対試合 西軍18－17東軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 下橋 和彦 (鹿児島)－栄花 直輝 (北海道) 藤原 崇郎 (広島)－中田 琇士 (東京) 優秀選手賞 男子 江藤 善久 (大阪) 坂田 秀晴 (山梨) 松下 悦郎 (鹿児島) 金木 悟 (静岡) 女子 二子石貴資 (兵庫) 庄島 幸恵 (佐賀)
第57回	平成23年 9 月18日	山形県上市市 体育文化センター	対試合 西軍19－16東軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 石田 洋二 (大阪)－宮崎 史裕 (神奈川) 亀井 徹 (熊本)－濱崎 満 (東京) 優秀選手賞 男子 石田 充 (山形) 清水 新二 (熊本) 笠村 浩二 (神奈川) 河田 清実 (徳島) 女子 下諸 純孝 (島根) 石田真理子 (大阪)
第58回	平成24年 9 月16日	宮崎市 宮崎県武道館	対試合 西軍19－16東軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 軽米 拓磨 (千葉)－加治屋隼人 (岡山) 香田 郡秀 (茨城) 長友 康範 (宮崎) 優秀選手賞 男子 平野 誠司 (徳島) 小山 正洋 (静岡) 内濱 誠志 (兵庫) 女子 畠山 隆吉 (愛知) 田中百合香 (京都)
第59回	平成25年 9 月15日	山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園 武道館	対試合 東軍23－12西軍 女子の部 西軍 4－1 東軍	優秀試合賞 男子 吉田 茂生 (徳島)－栄花 直輝 (北海道) 石塚 美文 (大阪)－濱崎 満 (東京) 優秀選手賞 男子 内村 良一 (東京) 寺本 将司 (大阪) 上原 勲雄 (山梨) 古川 和男 (北海道) 佐藤 桂生 (兵庫) 女子 宮崎 幸恵 (佐賀)
第60回	平成26年 9 月21日	島根県立浜山体育館 (カミアリーナ)	対試合 東軍19－16西軍 女子の部 西軍 4－1 東軍	優秀試合賞 男子 清野 忍 (山梨)－平野 誠司 (徳島) 香田 郡秀 (茨城)－山中 洋介 (鳥取) 優秀選手賞 男子 上園 修 (鹿児島) 石井 勝義 (福島) 鍋山 隆弘 (茨城) 清水 新二 (熊本) 石田 利也 (東京) 女子 杉本早恵子 (京都)
第61回	平成27年 9 月 6 日	熊本市総合体育館	対試合 西軍20－15東軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 宮崎 正裕 (神奈川)－松本 政司 (香川) 塚本 博之 (東京)－亀井 徹 (熊本) 優秀選手賞 男子 小田口亨弘 (岩手) 清水 新二 (熊本) 寺本 将司 (大阪) 上地安一郎 (沖縄) 女子 栄花 直輝 (北海道) 早津 理恵 (神奈川)
第62回	平成28年 9 月18日	福島県 郡山総合体育館	対試合 西軍19－16東軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 稲富 政博 (佐賀)－佐藤 勝信 (東京) 江口 忠文 (大分)－末平 佑二 (石川) 優秀選手賞 男子 鈴木 洋隆 (福島) 佐藤 博光 (大阪) 鍋山 隆弘 (茨城) 高橋 英明 (京都) 女子 東 良美 (愛知) 緒方 有希 (熊本)
第63回	平成29年 9 月10日	福岡市民体育館	対試合 東軍18－17西軍 女子の部 西軍 4－1 東軍	優秀試合賞 男子 栄花 直輝 (北海道)－蓮尾 孝幸 (福岡) 石田 利也 (東京)－山中 洋介 (鳥取) 優秀選手賞 男子 立花 義人 (福岡) 竹中健太郎 (鹿児島) 佐賀 豊 (北海道) 大城戸 功 (愛媛) 女子 豊村 東盛 (東京) 小津野祐佳 (岡山)
第64回	平成30年 9 月 2 日	仙台市青葉体育館	対試合 東軍18－17西軍 女子の部 東軍 4－1 西軍	優秀試合賞 男子 小野田稔秀 (長崎)－高鍋 進 (神奈川) 二子石貴資 (兵庫)－氏家 道男 (東京) 優秀選手賞 男子 佐藤 充伸 (宮城) 末益 正紀 (鹿児島) 大澤 規男 (埼玉) 石田 洋二 (大阪) 女子 古川 和男 (北海道) 小又 友美 (東京)
第65回	令和元年 9 月22日	浜松アリーナ	対試合 東軍25－10西軍 女子の部 西軍 3－2 東軍	優秀試合賞 男子 松本 政司 (香川)－寺地賢二郎 (東京) 山中 洋介 (鳥取)－石田 利也 (東京) 優秀選手賞 男子 内村 良一 (東京) 寺本 将司 (大阪) 栄花 直輝 (北海道) 宮崎 正裕 (神奈川) 女子 下島貴代一 (岐阜) 山本真理子 (大阪)
第66回	令和 2 年 9 月 6 日	昭和電工武道スポーツ センター	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	
第67回	令和 3 年 9 月 5 日	昭和電工武道スポーツ センター	対試合 東軍－西軍 女子の部 東軍－西軍	優秀試合賞 男子 ()－() ()－() 優秀選手賞 男子 () () () () 女子 () ()

昭和電工武道スポーツセンター
大会会場案内図



1F



全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)

令和3年7月5日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3日本武道館内	TEL 03(3211)5804	FAX (3211)5807
会長 稲川 泰弘	九段事務所	102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14靖国九段南ビル2階	TEL 03(3234)6271	FAX (3234)6007

地方代表団体	会 長	〒	事 務 局 所 在 地	電 話	F A X
(一財)北海道剣道連盟	藤 井 稔	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662・1663	(820)1662・1663
青森県 ”	増 田 知 幸	030-0903	青森市栄町1-7-8	017(764)0340	(764)0340
秋田県 ”	目 黒 大 作	010-0914	秋田市保戸野千代田町14-12 S A K A E ビル2F B室	018(883)0680	(883)0663
山形県 ”	安 部 美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県 ”	小笠原 宏 志	020-0122	盛岡市みたけ3-38-20 (一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220	(645)2220
(一財)宮城県 ”	井 上 雅 勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県 ”	長谷川 弘 一	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウスA101号	024(597)8218	(597)8218
(一財)茨城県 ”	小 倉 培 夫	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県 ”	白 石 正 範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県 ”	小 林 一 隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12	027(235)0870	(235)0870
(公財)埼玉県 ”	山 中 茂 樹	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一財)東京都 ”	千 葉 胤 道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一財)千葉県 ”	忍 足 功	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
神奈川県 ”	小 林 英 雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県 ”	渡 邊 宏 一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一財)新潟県 ”	浅 原 行 雄	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一財)石川県 ”	南 信 廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3 K S ハイッ 205号	076(253)0310	(253)0341
(一財)富山県 ”	牧 田 稔	939-8076	富山市太郎丸2区77 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一財)福井県 ”	片 山 外 一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一財)長野県 ”	加 瀬 浩 明	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一社)静岡県 ”	吉 村 勝	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一財)愛知県 ”	大 嶽 將 文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県 ”	堤 俊 彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県 ”	岡 田 一 義	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一財)滋賀県 ”	中 野 正 堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一財)京都府 ”	伊 吹 文 明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19	075(761)8288	(761)8287
(公社)大阪府 ”	長 榮 周 作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502号	06(6351)3345	(6351)3346
(一財)奈良県 ”	吉 田 克 法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県 ”	世 耕 弘 成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(公財)兵庫県 ”	河 野 修一郎	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイッ 201号	078(861)5145	(802)5240
(一財)岡山県 ”	山 本 晋一郎	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一財)広島県 ”	林 正 夫	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一財)山口県 ”	中 西 章	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
鳥取県 ”	岸 田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県 ”	高 木 弘 伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222	0852(27)6222
香川県 ”	三 原 悦 男	760-0033	高松市丸の内4-6 アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
(一社)愛媛県 ”	俊 野 徹 人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県 ”	渡 邊 三 則	780-0026	高知市秦南町1-5-12 恒石章彦方	088(871)5184	(871)5184
徳島県 ”	藤 川 和 秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(公社)福岡県 ”	青 柳 俊 彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
佐賀県 ”	江 島 良 介	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一財)長崎県 ”	松 尾 博 行	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一財)大分県 ”	安 部 正 定	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
熊本県 ”	尾 方 正 照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県 ”	橋 口 光 博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
鹿児島県 ”	俣 木 正 喜	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一財)沖縄県 ”	親 川 光 俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

全日本剣道連盟 広報誌

月刊 剣窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2 階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

全剣連発行の頒布物一覧

令和3年9月現在

頒布物名	価 格	重量 (g)	厚さ (mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
F I K 剣道試合・審判規則 (和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥400	55	3
杖道試合・審判規則	¥450	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書 (英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説 (英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説 (英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領 (英語版)	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
全剣連と剣道界 この十年の歩み	¥2,000	917	23
剣道英和辞典 (第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本 (改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q & A (第3版)	¥2,100	785	15
剣道医学救急ハンドブック (第3版)	¥500	97	4
剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル (第二刷)	¥300	90	3
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法 (英語版)	¥700	173	2
剣道用具の保守・管理 (英語版)	¥400	69	3
居合道における日本刀及び模擬刀の取扱要領	¥400	106	2

頒布物名	価 格	重量 (g)	厚さ (mm)
剣道学科審査の問題例と解答例 (初段～五段)	¥500	175	3
剣道授業の展開 (DVD付き)	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
木刀による剣道基本技稽古法DVD	¥3,600	92	15
居合DVD (英語版)	¥3,100	93	15
竹刀-剣道の発展を支えた竹刀の歩み-DVD	¥3,100	100	15
剣道人バッジ小ネジ	¥1,200	13	16
剣道人バッジ小タック	¥1,200	13	16
剣道人バッジ大タック	¥1,600	14	16
カフス・タイピン (真鍮バー)	¥6,100	66	30
F I K バッジ (ネジ・タック)	各¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1 (先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2 (ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 検査台 (ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい (白・紺・黄・あずき)	各¥500	38	4
ぶししクリアファイル (5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししTシャツ エンジ (S, M, L, LL)	¥2,500	170	20
ぶししTシャツ 白 (S, M, L, LL)	¥2,500	263	20
ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
ぶししラバーキーホルダー	¥600	19	5
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210

* 品物はすべて消費税込みとなります。
* 全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

- インターネットからのお申し込み……<https://zenkenren-shop.com>
- FAXでのお申し込み…心力舎企画株式会社 03-3451-6905 へFAXして下さい。
①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。
お支払い金額 (品物代金+送料) を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法 (②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)
①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料 (送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)
①宅 配 便…送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。
②メール便… (この場合、代金引換はご利用いただけません。)
全国一律、500円で、A4サイズ (厚さ20mmまで) の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

第67回 全日本東西対抗剣道大会

期日 令和3年9月5日(日)
会場 昭和電工武道スポーツセンター

大分県大分市大字横尾1351番地
TEL:097-520-0800 FAX:097-520-0880

主催 全日本剣道連盟
〒102-0074
東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階
TEL:03-3234-6271 FAX:03-3234-6007

主管 大分県剣道連盟
〒870-0820
大分県大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号
TEL:097-547-9980 FAX:097-547-9981

印刷 ㈱明文堂印刷

私たちは《剣道》を応援しています

